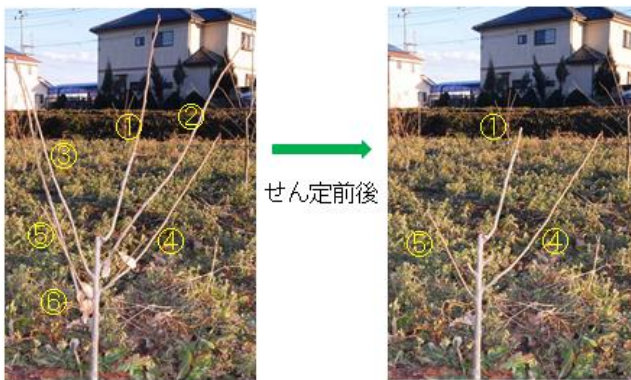


早期成園化が可能なクリ「ぽろたん」の 主幹形密植栽培法

クリ「ぽろたん」の特性を活かした主幹形密植栽培(2.5×4.0m、100本/10a植え)を開発した。側枝の更新を3年で1サイクルとしたもので、初心者、高齢者等でも熟練栽培者と同じ管理ができる利点がある。また、この方法は、植え付け3年目で100kg/10aの収量があり、その後も慣行の低樹高栽培に比べ収量が高く、粒も大きい、「簡単、省力、高品質、多収」技術である。



①先端の枝で1/3~1/2切り戻す。 ②、③基部に1~2芽残し切る(ほぞ切り)。
④、⑤そのまま残し結果母枝として利用。
⑥以下 上の枝と重なる場合は1~2芽残し切る。重ならない場合結果母枝として利用。

図1 植付け2年目及び主幹先端のせん定方法

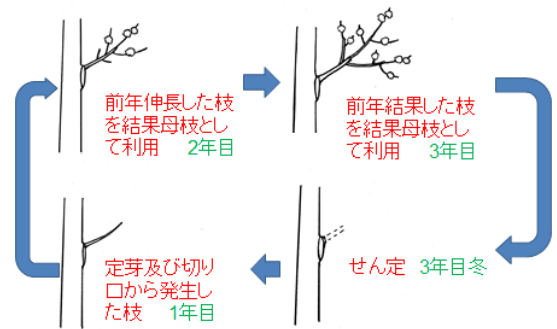


図2 「ぽろたん」主幹形樹の枝の更新サイクル

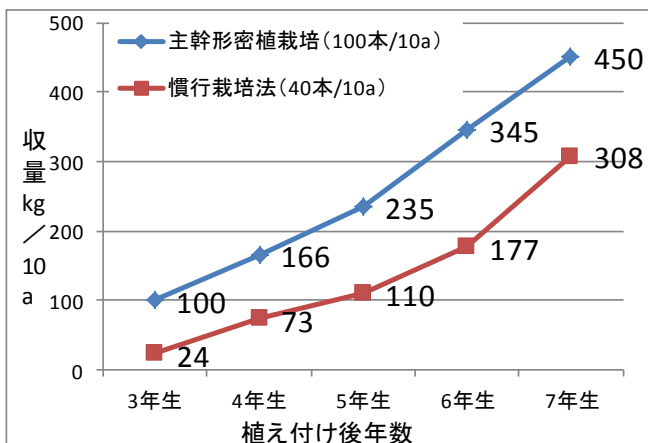


図3 主幹形密植栽培法と慣行方法の収量の年次変化 (滑川町)

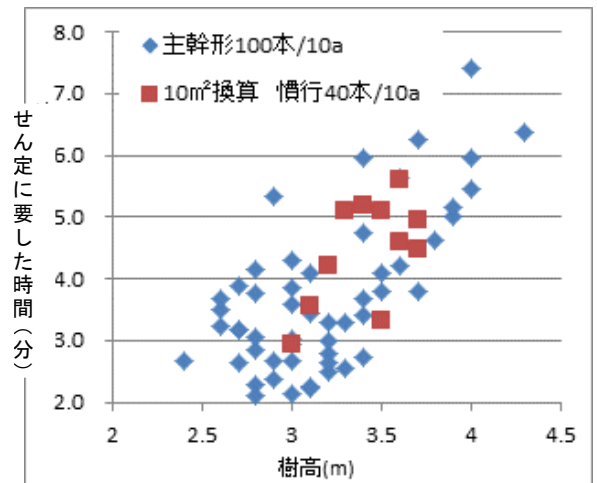


図4 新整枝法と慣行法の樹高に対するせん定作業時間の比較 (2014) (滑川町)